

米国 FDA によるインポートアラート(輸入警告)情報(2023年11月分)

2023年11月にFDAにより出された食品関係のインポートアラートの一覧は、以下の通り。

番号	種類	日付	インポートアラート名
68-19	DWPE	11/29/2023	未承認の動物用医薬品に対する、物理的検査なしの拘留
16-81	DWPE	11/28/2023	サルモネラ菌汚染を理由とした、水産物に対する物理的検査なしの拘留
16-18	DWPE	11/27/2023	生エビに対する、物理的検査なしの拘留
16-129	DWPE	11/27/2023	ニトロフラン(動物用合成抗菌剤)を理由とした、水産物に対する物理的検査なしの拘留
12-03	DWPE	11/27/2023	フランスからの輸入ソフトチーズ、およびソフト熟成チーズに対する、物理的検査なしの拘留
99-45	DWPE	11/27/2023	安全でない食品添加物を含む食品に対する、物理的検査なしの拘留
99-47	DWPE	11/27/2023	経済的動機を目的とした、ヒト向け食品における異物混入に対する、物理的検査なしの拘留
22-01	DWPE	11/27/2023	メキシコ産カンタロープ(赤肉種のマスクメロン)に対する、物理的検査なしの拘留
99-39	DWPE	11/27/2023	虚偽の表示とみられる輸入食品に対する、物理的検査なしの拘留
16-105	DWPE	11/20/2023	腐敗、ヒスタミン、またはインドール(腐敗たんぱく質)を理由とした、特定の製造者・出荷者からの水産物に対する、物理的検査なしの拘留
16-02	DWPE	11/20/2023	不衛生を理由とした、すべての乾燥フカヒレと、乾燥した魚の内臓(浮き袋)に対する、物理的検査なしの拘留
99-23	DWPE	11/20/2023	ヒト病原体に汚染された農産物に対する、物理的検査なしの拘留
23-12	DWPE	11/20/2023	微生物汚染を理由とした、ココナッツに対する物理的検査なしの拘留
23-14	DWPE	11/17/2023	マイコトキシン汚染を理由とした、食品に対する物理的検査なしの拘留
99-30	DWPE	11/17/2023	メラミン、またはメラミン類似体を理由とした、中国からのすべての乳製品、乳由来原料、および、乳を含む食品に対する物理的検査なしの拘留
21-07	DWPE	11/17/2023	不衛生を理由とした、あらゆる国や製造業者からの、タマリンド、およびタマリンド製品(生、冷凍、乾燥、加工品)に対する、物理的検査なしの拘留
99-29	DWPE	11/16/2023	食品用途で中国から輸入されるすべての植物性タンパク質製品に対する、メラミン、またはメラミン類似体の混入を理由とした、物理的検査なしの拘留
40-05	DWPE	11/16/2023	栄養成分および表示要件を満たしていない乳児用ミルクに対する、物理的検査なしの拘留
99-37	DWPE	11/14/2023	必要な手続きの不備による、低酸性缶詰食品、および酸性化食品に対する、物理的検査なしの拘留
54-14	DWPE	11/8/2023	GMP(適正製造規範)に準拠していない企業による栄養補助食品に対する、物理的検査なしの拘留
99-22	DWPE	11/8/2023	未申告の主要食物アレルゲンを含む食品、または、主要食物アレルゲンの適切な表示がない食品に対する、物理的検査なしの拘留
25-21	DWPE	11/8/2023	リステリア・モノサイトゲネス汚染を理由とした、韓国産及び中国産のエノキ茸

			に対する、物理的検査なしの拘留
54-07	DWPE	11/8/2023	ヒト用ゲルマニウム・サプリメントに対する、物理的検査なしの拘留
16-125	DWPE	11/6/2023	ボツリヌス菌毒素産生の可能性を理由とした、低酸素包装された冷蔵(適切な表示で冷凍されていない)生魚、および水産物に対する、物理的検査なしの拘留
99-21	DWPE	11/1/2023	未申告の添加亜硫酸化剤を含む食品に対する、物理的検査なしの拘留

注:DWPEとは物理的検査なしの拘留(Detain without physical examination)を指す。

11月にFDAより公表されたインポートアラートは25件と、件数が多かった。このうち、水産物に関するものが6件となっていた。拘留の理由は様々であるが、傾向としてやはり水産物はよく検査されていることがわかる。拘留されたケースはこれ以外にも様々あるとみられるが、拘留されてもインポートアラートに掲載されないものもある。

11/28/2023のインポートアラート16-81「サルモネラ菌汚染を理由とした、水産物に対する物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、1998年以降、日本に住所のある企業6社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/27/2023のインポートアラート99-39「虚偽の表示とみられる輸入食品に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、2015年以降、日本に住所のある企業16社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/20/2023のインポートアラート16-105「腐敗、ヒスタミン、またはインドール(腐敗たんぱく質)を理由とした、特定の製造者・出荷者からの水産物に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、2009年に日本に住所のある企業1社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/20/2023のインポートアラート16-02「不衛生を理由とした、すべての乾燥フカヒレと、乾燥した魚の内臓(浮き袋)に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、1995年以降、日本に住所のある企業4社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/20/2023のインポートアラート99-23「ヒト病原体に汚染された農産物に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、1995年以降、日本に住所のある企業3社の製品が、同インポートアラートに掲載された。なお、3社とも、エノキ茸がリステリア・モノサイトゲネスに汚染されていたことが、問題であった。11/8/2023には、リステリア・モノサイトゲネス汚染を理由として、韓国産と中国産のエノキ茸がインポートアラートの対象となったが、エノキ茸のリステリア・モノサイトゲネスによる汚染は、比較的発生しやすいため、注意が必要である。

11/14/2023のインポートアラート99-37「必要な手続の不備による、低酸性缶詰食品、および酸性化食品に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、2010年以降、日本に住所のある企業16社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/8/2023 のインポートアラート 54-14「GMP(適正製造規範)に準拠していない企業による、栄養補助食品に対する物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、2017年に、日本に住所のある企業1社の製品が、同インポートアラートに掲載された。

11/8/2023 のインポートアラート 99-22「未申告の主要食物アレルギーを含む食品、または、主要食物アレルギーの適切な表示がない食品に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のインポートアラートの対象ではなかった。しかし、2015年以降で日本に住所のある企業8社の製品が同インポートアラートに掲載された。

11/6/2023 のインポートアラート 16-125「ボツリヌス菌毒素産生の可能性を理由とした、低酸素包装された冷蔵(適切な表示で冷凍されていない)生魚、および、水産物に対する物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のアラートの対象ではなかった。しかし、2009年以降に14社の日本企業の製品が同インポートアラートとして挙げられている。

11/1/2023 のインポートアラート 99-21「未申告の添加亜硫酸化剤を含む食品に対する、物理的検査なしの拘留」については、日本企業は今回のアラートの対象ではなかった。しかし、2009年以降に13社の日本企業の製品が同インポートアラートとして挙げられている。

出所: [FDA インポートアラート](#) (英語)

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先:
日本貿易振興機構(ジェトロ)
ロサンゼルス事務所
TEL:1-213-624-8855
Email: lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成